

木知原の今昔!

18号: 5・7・21

♪ 土手のスカンポ ジャワ更紗さ… ♪

いっづく



♪ 歌詞の意味も分からず歌っていたような気がします…ご存じでしたか?

♪ 「スカンポ」とは「イタドリ(虎杖)・スイバ(酸葉)」の総称。

♪ 「ジャワ更紗」とは「ジャワ島原産の模様の入った布(ろうけつ染め)」のこと。 <酸葉・花は5月>

スカンポ

の名はイタドリには「酸味」があり折ると“ポコッ”と音がすることから「スカンポ」。更紗は「スイバの花が更紗模様に似ているから」など調べていたら

この歌は歌詞の内容なんかグダグダ言わないでサラ〜と気持ちよく歌えばよいの!

とのこと…本当に歌のことはわかりませ〜ン! 私は歌詞より野草名なんだけど…

和名

とは日本でしか通用しない名前のごとで「カタカナ表記」が基本であるが昔から地方や謡て(うたいて)によってまちまちの当て漢字を用いていた。 <虎杖・花は9月>

そのバラバラな漢字表記が江戸時代末期にほぼ現在の表記に統一され定着したようである。

❁ イタドリ(虎杖・痛取り)、スイバ(酸葉)は身近に繁茂している野草でよく知られているが、この時期の花で和名表記を『もう少し考えられなかったの!』と感じた二種を紹介しましょう。



屁糞葛

❁ どう読んでも「へ・クソ・カズラ」である



なるほど!
ヤイト跡に
見えますね

継子の尻拭

❁ 「ママコノシリヌグイ」とは、何と痛々しい名でしょう。

- ❁ 継子(ママコ)今は禁語ではないの? 別名「トゲソバ」ならまだ良いが?と思うほどである。
- ❁ 茎についているトゲはそれ程鋭くはないように見えるが、実は軍手をしていても痛さにびっくりである。
- ♥ 野草の中では一番美しい色合いと思っているのに「美しい物には…」ですかね〜
- ❁ ちなみに韓国では「嫁の尻拭き草」と言うらしい。何方もどっち(どっちもどっち)こんな時に使うのかな…



❁ 名の由来は「花や葉をもむといやな匂いを発する」とのこと。少し臭うが屁に糞です。もう少し他の表記はなかったのかな〜!

❁ 名は別として効能が多い薬草で漢方薬には欠かせなく木知原でも採取されていたとのこと。貴重薬草ながら可哀そうな和名である。

❁ 花がヤイト跡に似ているので「ヤイト花」とも言うが“なるほど”… そう言えば背中の大ヤイトも見られなくなりましたね〜

♥ それにしても一体誰が名付けたの?

またの機会に楽しみましょう

❁ 私の好きな「ボケ」と「アケビ」

❁ 日本古来のボケは「草木瓜」

❁ 木になる瓜で木瓜(もけ)が転じてボケ。花は淡い色で実も楽しめるが絶滅寸前。谷川右岸に旧堤から移植の大株あり。

❁ アケビは「木通」

❁ 実の割れ様が「あくび・開け実」が転じてアケビ。

・「通」とは利尿作用があり

「小水が通じる」ことから「通草」

との表記もある。(以上豆知識でした)

